

早大防災教育支援会を聞いて 一年一組十六番鈴木優花里

私は、この早大防災教育支援会を聞いて、インドネシアで起きた津波前と、後の上空からの絵を比較してみても、津波前の海沿いが、後を見ると、そこは海になっ、ていました。それに、少しではなくて、遠い所なのに、海となっ、ていて、もし神戸に津波が来たら、きっと渚中学校もひどい事になっ、て、周りが海になっ、てい、ると思います。そう考えると、あ、くひどか、つ、たんだな、あ、と思、いま、した。そして、被害者の数は16万4千人と聞いて、け、れ、ど、本、当はも、つ、と、す、ご、い、い、る、ん、じ、も、な、い、か、と、私、は、思、い、ま、す。な、ぜ、な、ら、本、当、に、亡、な、つ、た、人、数、は、分、つ、て、い、な、い、そ、う、だ、か、ら、で、す。

私は、神戸にじしんが来た時は、遠い所に住んでいたので、実際はどんな感じかは分からないけれど、人と防災センターでシミュレーションを見ると、その恐ろしさを実感できても怖くありません。

私はじしんなどの震災はしがたが無い事だ、け、れ、ど、今、木をたくさん切り落として、木

が無くなっています。木をたくさん切ると、
山に木が少なくなると、山がしずんでいくと
いう事があります。すると土砂くず水が起き
て、大変な事になります。だから、そういう
自分達が地球をよごして、自分達が死んでい
くなんて事は絶対したくありません。今、そ
ういう事をしているので、将来私はそういう
事を無くしていくためにみんなに話していま
たいと思います。今は、そういう事はできな
いけれど、ゴミを町にすてないとかなど、小
さい事から頑張っています。たいと思います。